他人のものはそうは行かない

僕の理想は一メートル七十五だが、まだまだ縁遠い。
背の高い人がうらやましいなあ。

夕食後、再び上にあがり、寒いので床に入り、
古文の本を読み続けようとしたが、
明日があると思うと気がゆるみ、
そのまま、ウトウトと、
本を開いたまま瞑想にふける。

他人は他人。

世の中で、一番信頼出来るのは、
自分の手と頭。

他人の手や頭が優れていても、
それは他人のもの、
自分のものではない。

自分の望む通りに、
いつもやってくれる気を
いつも起こしてくれるのは
自分の手と頭。

他人のものはそうはいかない。

一日中、ただ古文、夢想、食事が中心。
のんびりした一日だった。

しかし、孤独な戦いの一日でもあった。

63 他人のものはそうは行かない・・・・・・・・・・276

Candy
in the Heart
279

萩原良昭